

妙円寺詣りの歌

作詞 池上真澄 作曲 佐藤茂助

- 1 明^あくれど閉^とざす 雲^{くも}暗^{くら}く 薄^{すす}かるかや そよがせて 嵐^{あらし}はさつと 吹^ふき渡^{わた}り 万^{ばん}馬^ばいななく 声^{こえ}高^{たか}し
- 2 銃^{つつ} 雷^{いかづち} と 轟^{とどろ}けば 太^た刀^ち稻^{いな}妻^{ずま}と きらめきつ 天^{てん}下^か分^{わけ}目^めの たたかいは 今^{いま}や開^{ひら}けぬ 関^{せき}ヶ原^{はら}
- 3 石^い田^ししきりに 促^{うなが}せど 更^{さら}に動^{うご}かぬ 島^{しま}津^づ勢^{せい} 占^しむる小^こ池^{いけ}の 陣^{じん}営^{えい}に 鉄^{てつ}甲^{こう}堅^{かた}く よろうなり
- 4 名^なだたる敵^{てき}の 井^い伊^い本^{ほん}多^だ 霧^{きり}にまぎれて 寄^よせ来^くるや 我^わが昌^{しょう}巖^{がん}ら 待^まち伏^ぶせて 縦^{じゅう}横^{おう}無^む尽^{じん}に かけ散^ちらす
- 5 東^{とう}軍^{ぐん}威^い望^{ぼう}の 恃^{たの}みあり 西^{せい}軍^{ぐん}恩^{おん}義^ぎに よりて立^たつ 二^に十^{じゅう}余^よ万^{まん}の 総^{そう}勢^{ぜい}の 勝^{しょう}敗^{はい}何^いれに 決^{けつ}せんや
- 6 戦^{たたか}い今^{いま}や たけなわの 折^{おり}しも醜^{しこ}の 小^こ早^{はや}川^{かわ} 松^{まつ}尾^お山^{やま}を 駆^かけくだり 刃^{やいば}返^{かえ}すぞ 恨^{うら}めしき
- 7 前^{まえ}に後^{うし}ろに 支^{ささ}えかね 大^{たい}勢^{せい}すでに 崩^{くず}るれど 精^{せい}銳^{えい}一^{いっ}千^{せん} われひとり 猛^{もう}虎^こ負^ふ隅^{ぐう}の 威^いを振^ふるう
- 8 蹴^け立てて駒^{こま}の 行^ゆくところ 踏^ふみしだかれぬ 草^{くさ}もなく 西^{せい}軍^{ぐん}た^ために 気^き負^おい来^きて なびくや敵^{てき}の 旗^{はた}の^{いろ}色^{いろ}
- 9 家^{いえ}康^{やす}いたく あらだちて 自^{みづか}ら雌^し雄^{ゆう}を 決^けつせん^と 関^{かん}東^{とう}勢^{せい}を 打^うちこぞり 雲^{うん}霞^かの如^{ごと}く 攻^せめかかる
- 10 かかれ進^{すす}めと 維^い新^{しん}公^{こう} 耳^{みみ}をつんざく 雄^{おたけ}叫^いびに 勇^{いさ}む隼^{はやと}人^{にん}の 切^{きつ}先^{さき}の 水^{みず}もた^{するど}まらぬ 鋭^{えい}さよ
- 11 払^{はら}えば又^{また}も 寄^よせ来^きたり 寄^よすれば又^{また}も 切^きりま^きくり 剛^{ごう}は鬼^き神^{じん}を 挫^{くじ}けども 我^{われ}の寡^{かせい}勢^{せい}を 如^い何^かにせん
- 12 運^{うん}命^{めい}何^いれ 生^{せい}か死^しか こ^{せん}こを先^{せん}途^とと 鞭^{むち}ふるい 舊^{ふる}迅^{じん}敵^{てき}の 中^{ちゅう}堅^{けん}に 活^{みち}路^{もと}を求^{もと}めて かけ込^こます
- 13 譜^ふ代^{だい}恩^{おん}願^{がん}の 将^{しょう}卒^{そつ}ら 国^{くに}家^かの存^{そん}亡^{ぼう} この時^{とき}と 鎬^{しのぎ}をけ^とずる 関^{かん}の^{こえ}声^{てん} 天^ちにとどろき 地^ちにふるう
- 14 篠^{しの}を束^{つか}ねて 降^ふる雨^{あめ}に 横^{よこ}とう屍^{かばね} 湧^わく血^{ちしお}潮^{かせ} 風^{ふう}なまぐさく 吹^ふき巻^まきて 修^{しゅう}羅^らの 巷^{ちまた}の それなれや
- 15 薙^なげど仆^{たお}せど 敵^{てき}兵^{へい}の 重^{かさ}なり来^きたる 烏^う頭^{とう}坂^{さか} たばしる矢^や玉^{たま} 音^{おと}凄^{すご}く 危^き機^きは刻^{こく}々^{こく} 迫^{せま}るなり
- 16 骸^{むくろ}も染^そみて 猩^{しょう}々^{じゅう}緋^ひ 御^み盾^{たて}となりし 豊^{とよ}久^{ひさ}を 見^みるや敵^{てき}兵^{へい} 且^かつ勇^{いさ}み 群^{むら}がり寄^よする 足^{あし}速^{はや}し
- 17 賜^{たま}いし御^み旗^{はた} ふりかざし 阿^あ多^{たち}長^{じょう}寿^{じゆいん}院^{いん} 駈^かけ入^いりて 兵^{ひょう}庫^{こう}入^{にゅう}道^{どう} 最^{さい}期^ごぞと 名^な乗^のる雄^お々^おしき 老^{おい}い^はの果^はて
- 18 欺^{あざむ}かれたる 悔^くしさに 息^{いき}をもつかず 忠^{ただ}吉^{よし}ら くつわ並^{なら}べて 追^おい来^きしが 返^{かえ}す我^わが余^よ威^い また猛^{たけ}し
- 19 牧^{まきた}田^た川^{がわ}添^ぞい ひと筋^{すじ}に 行^ゆく行^ゆく敵^{てき}を けちらして 駒^{こま}野^の峠^{とうげ}の 夜^よにまぎれ 伊^い勢^{せい}路^じさしてぞ おち給^{たま}う
- 20 献^{けん}策^{さく}遂^{つい}に 容^いれられず 六^{ろく}十^{じゅう}余^よ年^{ねん}の 生^{しょう}涯^{がい}に 始^{はじ}めて不^ふ覚^{かく}を とらしたる 公^{こう}の無^む念^{ねん}や 嗚^あ呼^あ如何^{いか}に
- 21 興^{こう}亡^{ぼう}すべて 夢^{ゆめ}なれど 敵^{てき}に背^そを 見^みせざりし 壮^{そう}烈^{れつ}無^む比^ひの 薩^{さつ}摩^ま武^ぶ士^し 誓^ぼは永^{とわ}久^{きう}に 匂^{にお}うなり
- 22 無^む心^{しん}の蔓^{つる}草^{くさ} 今^{いま}もなお 勇^{ゆう}士^しの血^{ちしお}潮^{しげ}に 茂^{あお}るらん 仰^{げつ}げば月^{ひょう}色^{びよう} 漂^お渺^うと うた^おた^うた^う往^{じやう}時^じの なつ^{なつ}か^かしや